

ICT街づくり推進事業
事業名：新時代葛城クリエーション推進事業
プレゼンテーション資料

2014年2月17日

代表提案団体：奈良県 葛城市

<共同提案団体>

葛城市

近鉄ケーブルネットワーク株式会社、凸版印刷株式会社
イオンリテール株式会社、オムロンヘルスケア株式会社
関西大学、奈良女子大学



■ 基本情報

(2013年1月1日現在)

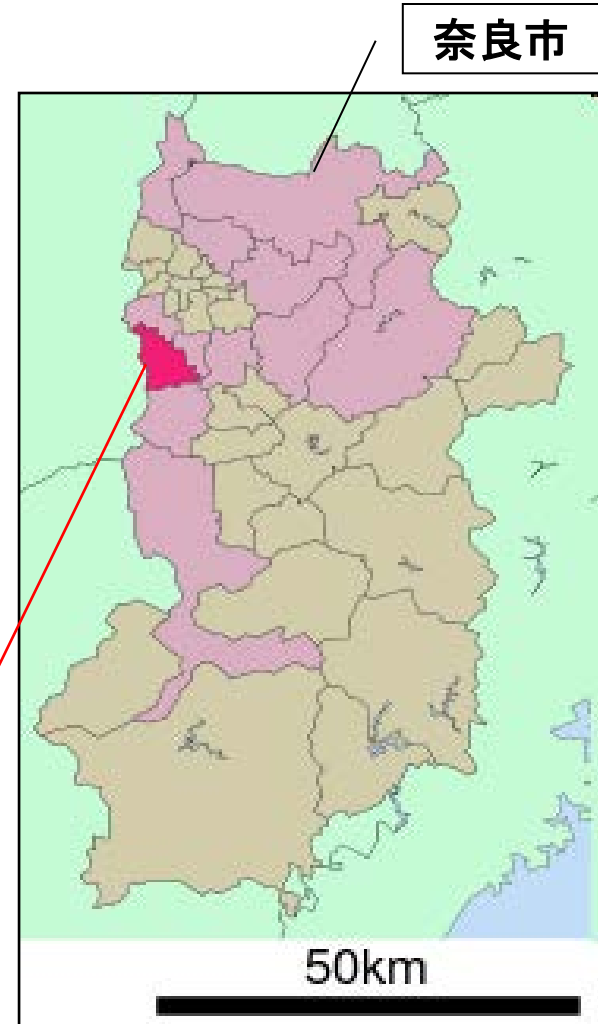
人口: 36,797人

世帯: 13,483世帯

65歳以上8,559人(23%)

※2004年に新庄町と當麻町が合併して誕生

葛城市



第1部

事業のアウトライン

<主要課題>

<基軸となる考え方>

<まちづくり戦略>

時代的变化＝人口動態の変化の進展
(高齢者世帯の増加＋子育て世代の増加)
等によって現れてきている主な課題
▼
日々の健康管理・健康増進への対応
買い物困難者への対応
その他

様々な災害リスクの増大による主な課題
▼
市民の生命と財産を守ることでできる
安全・安心の仕組み・仕掛けづくり

2町合併によって顕在化してきた主な課題
▼
旧2町が各々構築・運営してきた
異なるシステムやネットワークの混在
による市内の地区間情報格差の発生

行政の置かれる環境についての主な課題
▼
行政コストの縮減と住民サービスの
拡大・向上という矛盾する使命の遂行

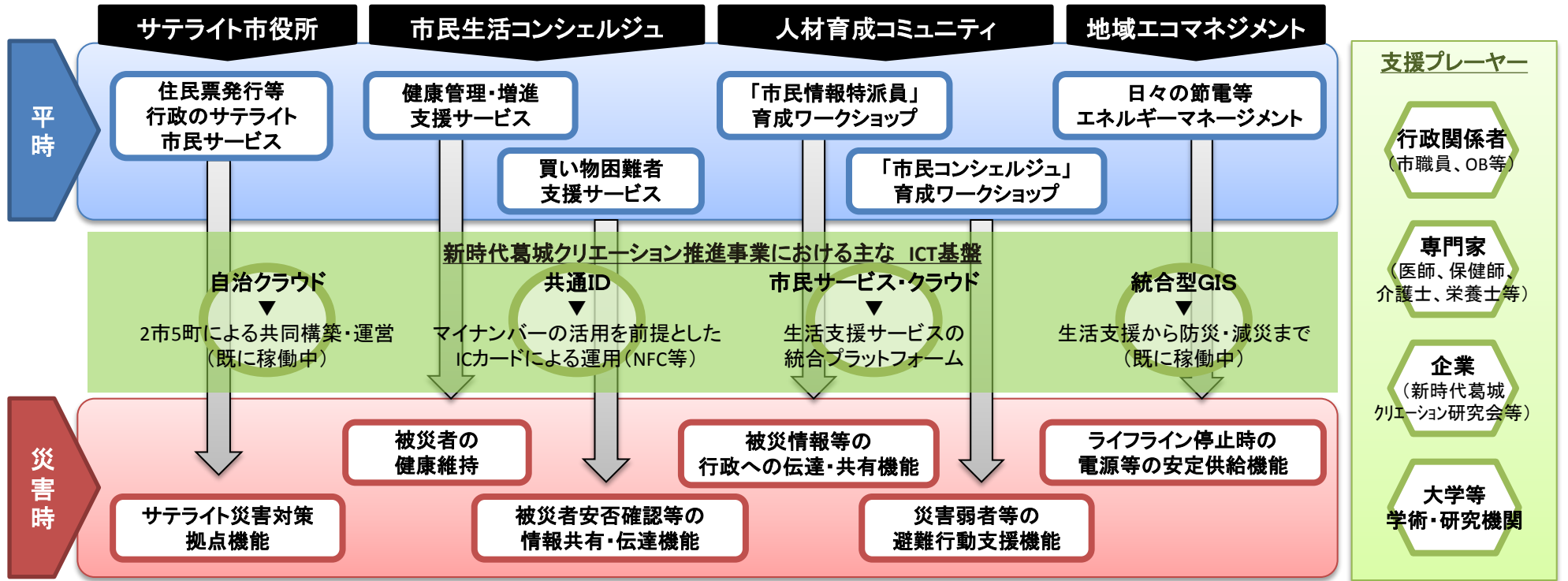
地域の運営に市民が自律的に参加する仕組み・仕掛け・環境等を
構築・運営することによって『地域自治力』を飛躍的に向上させる

行政と市民と企業等が思いとビジョンと戦略
を共有して参加し、構築・運営するプロジェ
クト推進スタイルの確立

地域コミュニティを、自分たちの生命と財産
は自分達で守り育む『自助・共助のコミュ
ニティ』として再生・再創造

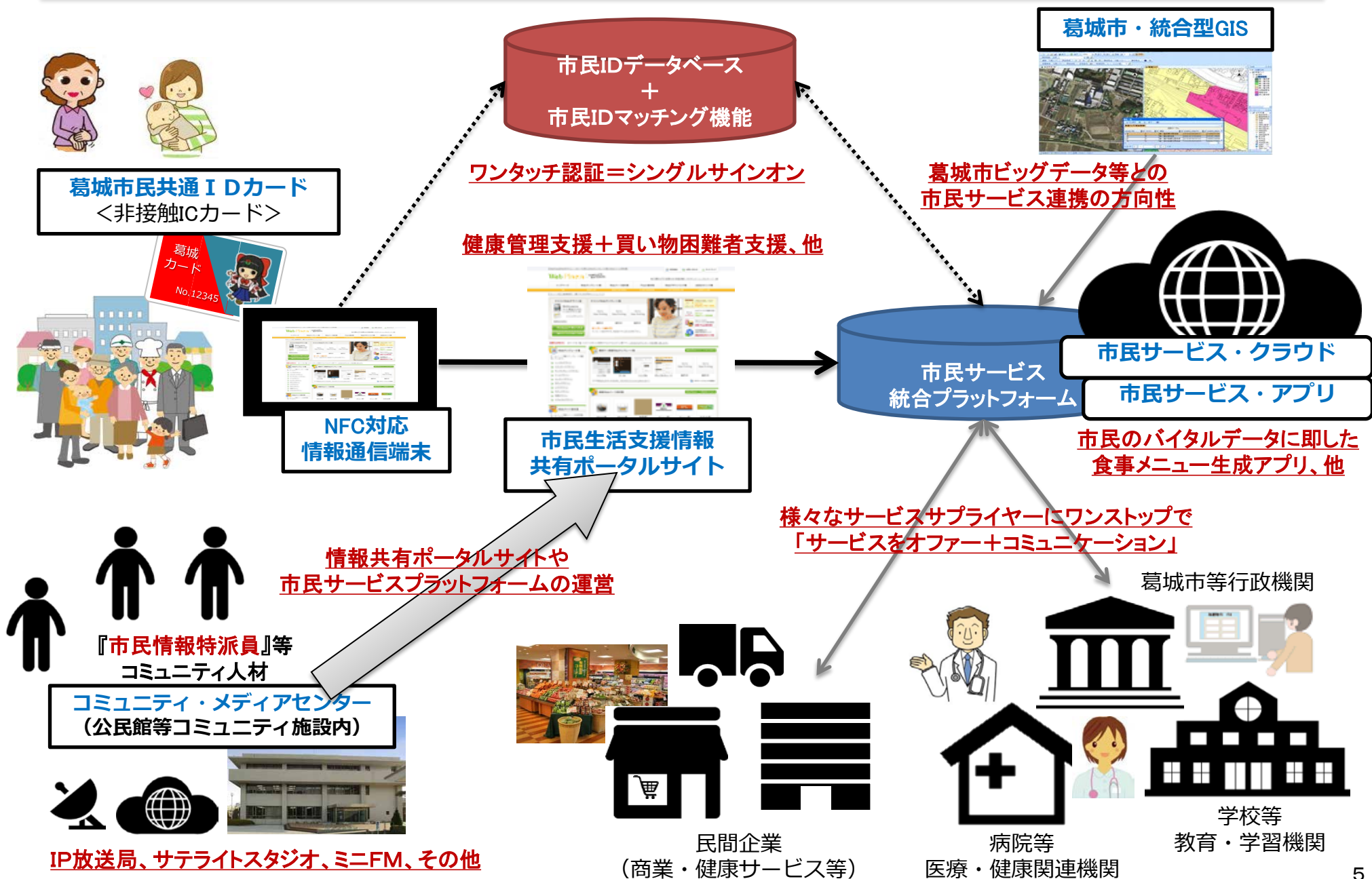
市民サービスの市役所一極集中型
から「サテライト拠点」型に転換
▼
市内44地区の公民館等にサテライト
拠点を開設、市の職員やOB等を
『市民生活コンシェルジュ』として
派遣・常駐させ、コミュニティの再生・
再創造・実体化・活性化を先導

パートナー企業が持続的にサービスを提供
できる事業環境を確立するために、コミュ
ニティを新市場として創出するサービスモデ
ル・ビジネスモデルの
構築を、行政サービスの視点から支援



事業の主な特長

- ①市内44地区=44か所の公民館等のコミュニティ施設を、市民サービス拠点として徹底活用
⇒市職員又はOBを派遣し、庁舎への機能集中型市民サービスから「サテライト型市民サービス」へ転換、地区ごとの自治力を飛躍的に向上して地域コミュニティを再生・活性化。
- ②企業が事業化を目指してプロジェクト参加し、持続可能なサービス提供の体制を確立・運営
⇒新時代葛城クリエーション研究会は、多様な分野の9社の企業が参加し活動中。
- ③近隣自治体をはじめ、県や国の機関との広域行政連携の基盤がすでに運用可能
⇒近隣自治体(2市5町)による「自治体クラウド」の共同構築・運営が既に稼働、大和路情報ハイウェイやケーブルテレビネットワークなどを組み合わせて多様な広域連携運用が可能。
- ④システム等の高度な汎用性と新たな社会スタンダードとなるビジネス&サービスモデルの構築により日本全国への横展開が可能な事業
⇒研究会への参加企業等により、広く市場に受け入れられるサービスやシステム等の仕様を検討・計画し実証。
- ⑤既に行政業務目的で稼働している「統合型GIS」を、多様な市民サービスの統合プラットフォームの構築・運営においてしっかり活用
⇒生活支援プラットフォーム(Webサイト等)における情報共有ポータル機能や地図検索ツール等として、市民が有効に使いこなす状況を創出。
- ⑥市民サービスの分野から、共通IDの仕組み・メリットをアピール・浸透促進・ムーブメントの醸成
⇒高度な互換性を有する世界標準“NFC”ICカードを市民が所持、健康管理支援サービスや買い物支援サービスを高度なセキュリティ環境でシングルサインオンの簡単操作で享受。
- ⑦持続的な事業運営を実現するために、地域コミュニティに人材育成の仕組み・仕掛けを導入・整備
⇒初期段階は、市職員やOB、研究会会員企業等がコミュニティをケア、地域住民が自律的にサービス運営を行っていただけるように、ICTや生活支援等のリテラシーを教育・人材養成。

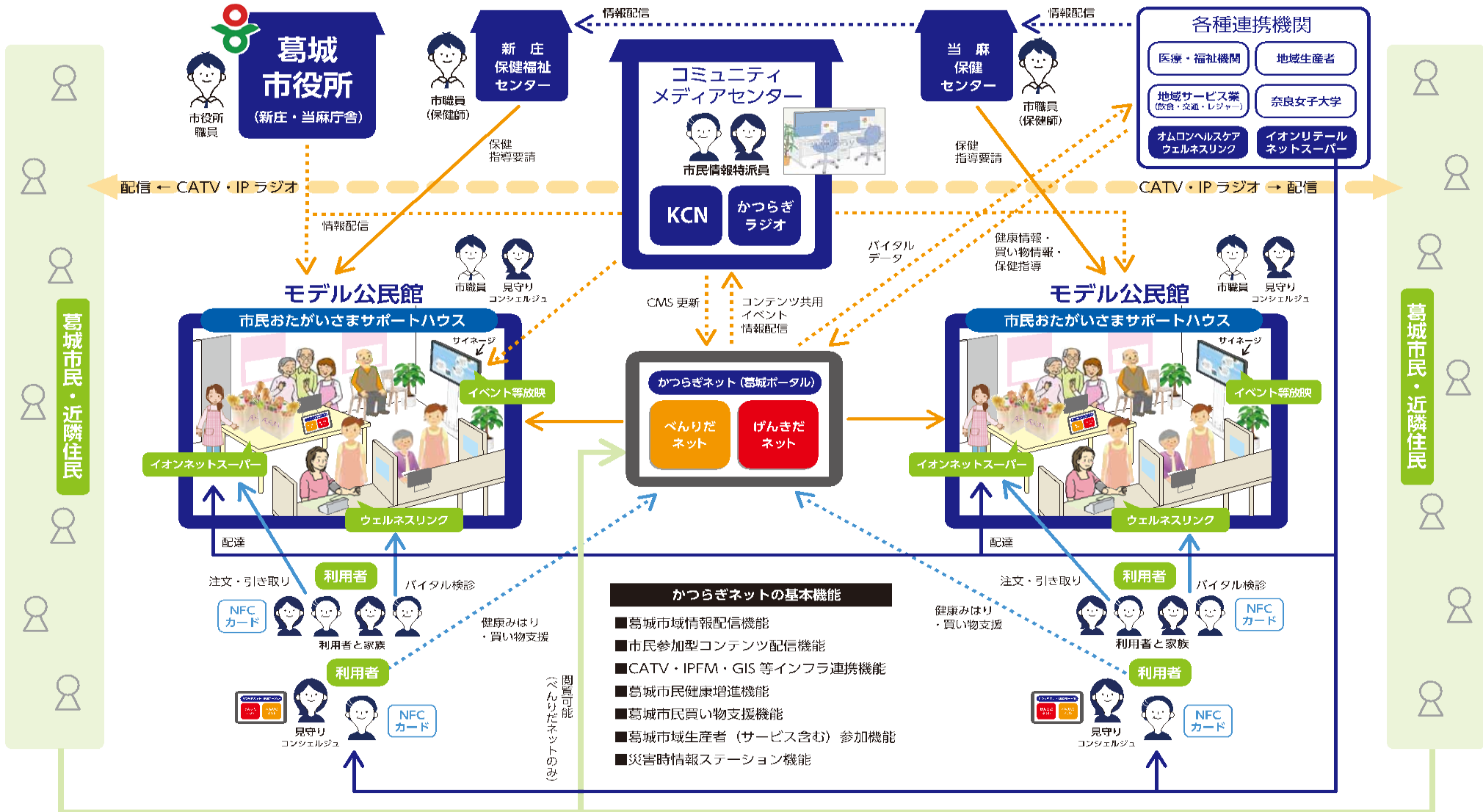


第2部

市民おたがいさまサポートハウス
一貫物支援・健康支援・サテライト市役所等の展開

「市民おたがいさまサポートハウス」全体のイメージについて

新時代葛城クリエイション推進事業の具体的構成 (2013年10月~2014年3月末)



ゴールイメージ

葛城市を構成する44地区の公民館などのコミュニティ施設を徹底的に有効活用し、さらに地域コミュニティのパワーを十分に発揮できる環境を整備することで、より充実し、かつ細やかな市民サービスを創造し、持続的な運営の実現を目指す事業です。

買い物
支援

集会所等で らくらく お買い物!

毎日の食材や重たいもの、大きくて持ち帰りが大変なもの…妊婦の方や小さな子供連れ、ご高齢の方などにとって買い物が大変だと思っているみなさまも多いのでは?そんな方のために遠く離れたお店に行かなくても、集会所等でインターネットを利用した買い物ができるサービスです。

健康
支援

毎日の健康 づくりを お手伝い!

活動量計で毎日歩数カウント!定期的に体重、血圧などを測定し、インターネットで健康管理&健康増進。また、健康レシピがもらえるサービスも考案中です。ちょっと健康を気にし始めた方、健康に関する数値やデータをとって安心したい方、健康管理をしたいけど施設や道具、きっかけがなくてはじめられなかった方などが対象です。

育成
ワーク
シヨップ

集会所等で 健康づくりと お買い物を支援!

健康サポートやお買物サポートを中心に“案内役”として、市民コンシェルジュが活躍します。

休日も
OK! サテライト市役所

住民票の発行なども集会所等でOK!

市役所が休みの土曜日、日曜日にもサービスをご提供します。市役所まで遠方でなかなか出向けない方などのご利用を考えています。



寺口ふれあい集会所

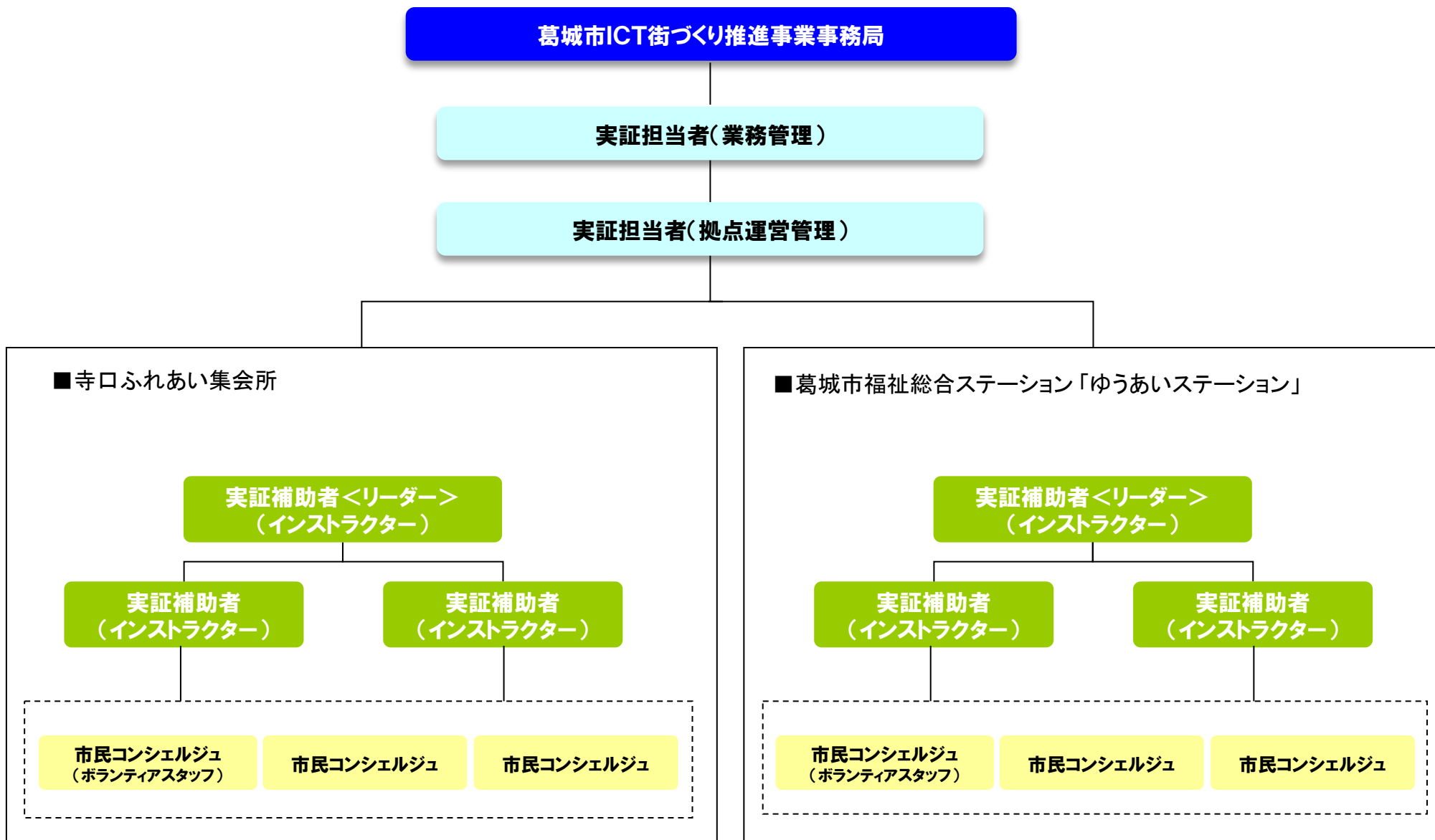
住所:葛城市寺口427番地1



葛城市福祉総合ステーション
「ゆうあいステーション」

住所:葛城市染野789番地1

葛城市が総務省委託事業「ICT街づくり推進事業」を受託し、平成25年12月中旬ごろ～平成26年3月の期間、集会所などを拠点に、地域全体が地域の人々を見守り・助け合い・支え合う街づくりを住民と市(行政)と企業、大学等との協働で推進するための実証運用をいたします。



※市民コンシェルジュ(ボランティアスタッフは、週のうち従事可能な日のみ参加。)

「市民おたがいさまサポートハウス」での活動風景(買物支援・健康支援)



買物支援／ボランティアスタッフが
げんきだネットで説明しながら買物をサポート
(ゆうあいステーションにて)



初めての市民の方にボランティアスタッフが、
イラストで仕組みを説明
(同ステーションにて)



健康支援／活動量計から
げんきだネットに活動量計データ
吸い上げをする様子
(同ステーションにて)

<2014年2月10日現在データ>

■モニター 数

- ・寺口ふれあい集会所 55人
 - ・ゆうあいステーション 142人
- 合計197人

- ・STB在宅モニター 21人
- ・訪問買物モニター 11人

■市民コンシェルジュ

- ・寺口ふれあい集会所 3人
- ・ゆうあいステーション 4人

- 寺口「ふれあい集会所」、葛城市福祉総合ステーション
「ゆうあいステーション」にサービスコーナーを設営

●市民ボランティアスタッフが、ICT活用について研修の後、モニターの方々に、拠点でサービスを提供しています。



かつらぎネットのかんたん使い方デモンストレーション(寺口ふれあい集会所にて)



市民コンシェルジュが内臓脂肪測定をサポート(寺口ふれあい集会所にて)



オムロンヘルスケアのスタッフが測定シートの見方を説明
(ゆうあいステーションにて)



情報特派員 ワークショップ風景
(當麻メディアセンターにて)

＜プロモーションイベント(既・予定)＞

- 内臓脂肪計測イベント
(ビフォー&アフター)
- 寺口地区における、
かつらぎネットデモンストレーション
- 地元産直健康レシピイベント
- 楽しみながらキレイと健康を
手に入れる講座イベント(予定)
- エネルギーマネジメント
出張講座イベント(予定)
- ICT防災訓練(予定)
- 情報特派員ワークショップ

「市民おたがいさまサポートハウス」での活動を支える ICT 活用例(かつらぎネットトップ画面)



かつらぎネット 専用壁紙



れんカード



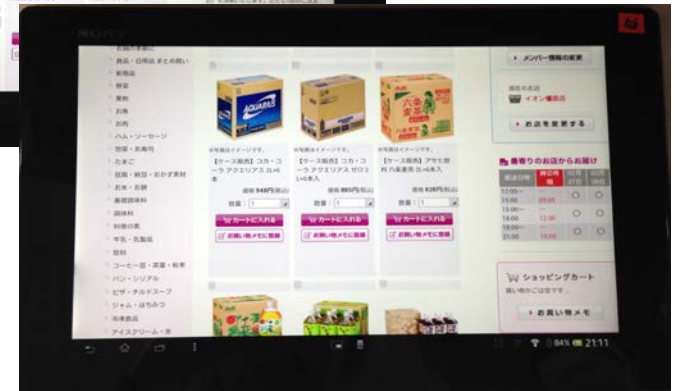
TOP画面

- かつらぎネットは情報発信系のべんりだネットと、くらしのソリューション系のげんきだネットから構成されています。
- 通称「れんカード」によるシングルサインオンを実装し、スムーズなサービス画面へのアクセスを実現しました。

「市民おたがいさまサポートハウス」での活動を支える ICT活用例(買物支援・健康支援)



(買物支援)イオンネットスーパー画面



商品購入画面



健康支援 個人用TOPページ



健康支援 個人用測定記録ページ

●げんきだネット内の買い物支援と健康支援サービスサイト。これらの画面にシングルサインでアクセスします。

「市民おたがいさまサポートハウス」での活動を支える ICT活用例(健康みはり・健康レシピ／べんりだねっと)



健康みはり TOPページ



健康レシピ
TOPページ

健康レシピ 詳細ページ



健康レシピ活用風景



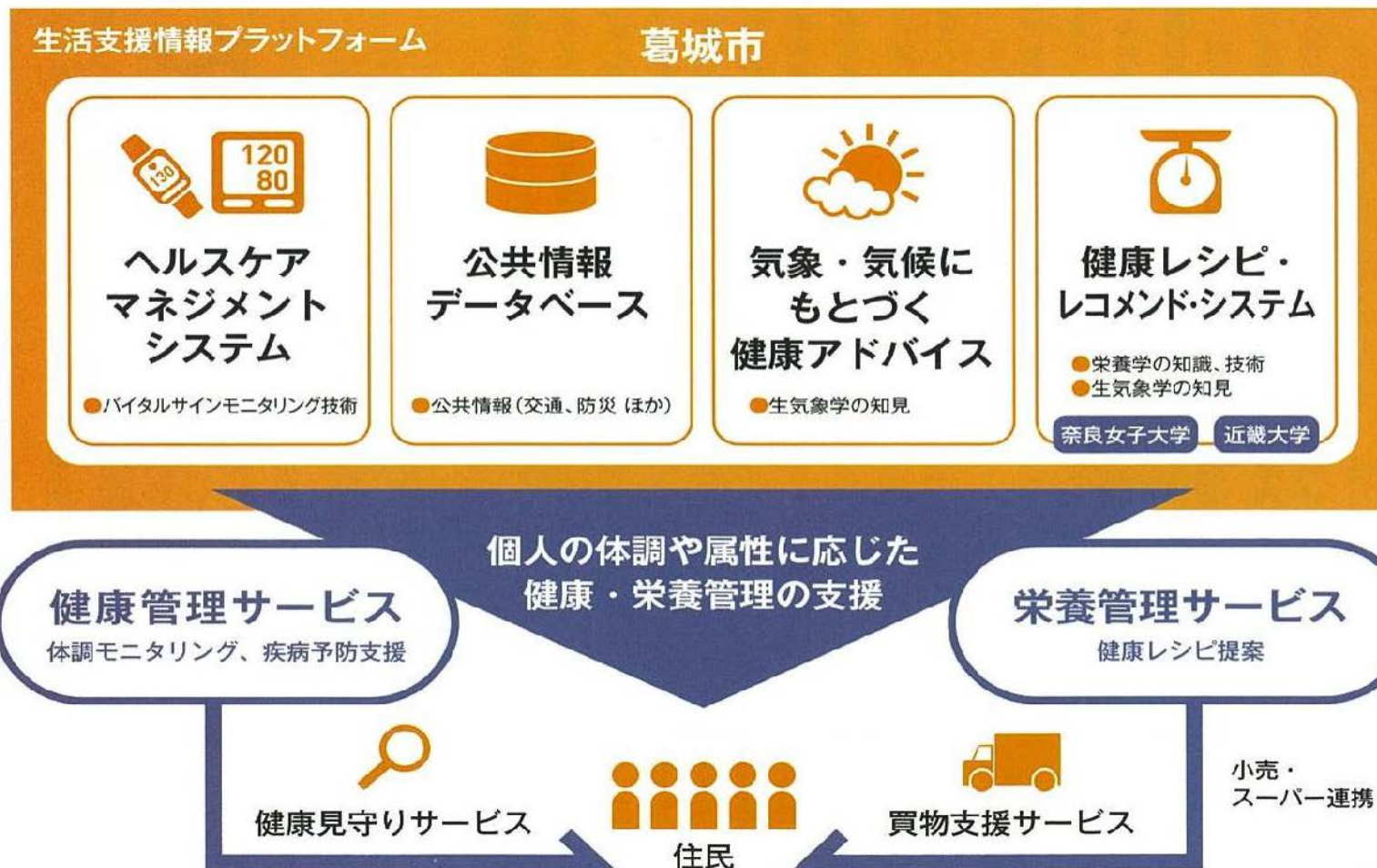
べんりだネット TOPページ



情報特派員 ワークショップ風景

●「GIS×気候×健康指導」のアルゴリズムによる「健康みはり」サービスでは、個人の健康情報に基づいたレシピレコメンドサービスが可能です。べんりだネット向けに放送だけでなく通信のワークショップも受講します。

健康支援サービスのスキーム

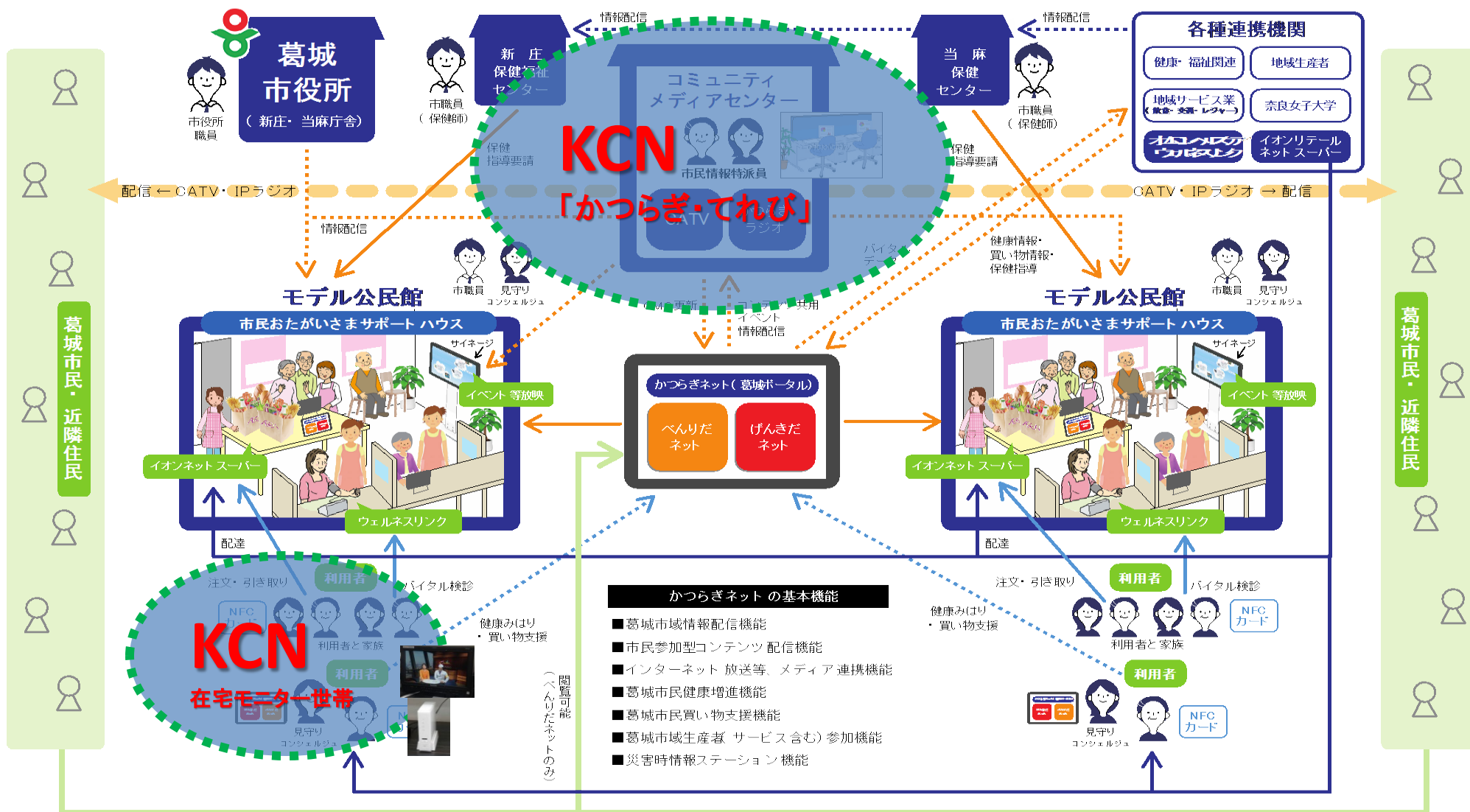


地域の気候と連動し、各人の健康状態に沿った健康指導やレシピを提案。
さらに買物支援とデータ連携を図り、レシピにあった食材をスムーズに買い物できる等、
ワンストップサービスを充実させたICTの仕組みを「コミュニティの自助共助活性化」に役立てます。

第3部

市民情報特派員 ーワークショップの実施と「かつらぎてれび」の展開

新時代葛城クリエイション推進事業の具体的構成(2013年10月~2014年3月15日)



ゴールイメージ

葛城市を構成する44地区の公民館などのコミュニティ施設を徹底的に有効活用し、さらに地域コミュニティのパワーを十分に発揮できる環境を整備することで、より充実し、かつ細やかな市民サービスを創造し、持続的な運営の実現を目指す事業です。

市民情報特派員が情報発信 !!

～ メディアを使って ふれあいまちづくり ～

市民参加型情報発信「かつらぎ・てれび」は、総務省の平成24年度補正予算ICT街づくり推進事業において採択された「新時代葛城クリエーション推進事業」の中核事業として行う事業です。

新時代葛城クリエーション推進事業では、地域コミュニティの再生・再創造を目指し、自分たちの生活や環境は自らが守り、地域コミュニティを活性化させることを目指す、自助・共助の街づくりを推進いたします。本事業における「かつらぎ・てれび」の役割は、緊急時・災害時には行政と市民が連携し、メディアを使って情報発信を行い、市民の生活により近い市民目線の災害情報発信を目指します。また、平常時におきましては、葛城のひと・もの・まち等をとりあげ、市民が自由な発想と表現で情報を発信し、地域コミュニティのさらなる活性化を目指します。

いつも身近に感じる地域や人を伝えたい話題をメディアを使って発信する。
情報を発信する過程で人と人がふれあい、新たなコミュニティが生まれる。

**メディアを使って昔ながらの「ふれあいまちづくり」
住みよいまちを再生！！新時代のかつらぎへ**

市民情報特派員募集チラシ文面(抜粋)

インターネットTV「かつらぎ・てれび」いよいよスタート！

～かつらぎの「ひと・もの・まち」を市民からの情報発信しませんか！～

総務省平成24年度補正予算ICT街づくり推進事業において葛城市他が採択された「新時代葛城クリエーション推進事業」。この事業により葛城市では自助・共助の街づくりをめざし、自分たちの生活や環境を自分たちが自身で守り、コミュニティの再生・再創造につながる街づくりをスタートいたします。この際、同時に発足する「かつらぎ・てれび」は、市内の2ヶ所に設置される新任・葛城のメディアセンターからインターネット放送や各種メディアを通じ、地域の「ひと・もの・まち」を市民のみなさんの目線で行う情報発信をすすめてゆきます。

●市民情報特派員を募集しています。

「かつらぎ・てれび」では、市民情報特派員として（ボランティアスタッフ）で活動される方を募集しております。ネットの知識や情報発信に関する経験や知識がなくてもOKです。（市民情報特派員養成の無料カリキュラムをご用意しております。）

【募集要項】

- 1) カリキュラム（無料）の修了が必要です。第1期：2月開始・第2期：4月開始・15名募集（先着順）
- 2) 葛城市に在住の18歳以上の市民で募集いたします。
- 3) カリキュラム修了後、市民情報特派員として活動いただける方には、市費より交通費と食費が各1万円が交付されます。また活動に必要な器材や機材が別途に貸出できるなどの優待もいたします。
- 4) 応募に際しては、募集要項への記入をお願いします。応募受付の申し込みは、下記のお問い合わせ先よりご案内させていただきます。

「かつらぎ・てれび」市民情報特派員募集に関するお問い合わせ
葛城市企画政策課（市民情報特派員募集）まで
葛城市新任庁舎3階 電話番号 0743-69-3001

市民情報特派員募集チラシ

新時代葛城クリエーション推進事業

☆☆☆☆

1,112 | 100人 | 登録
はいいいいいいいいい

ページ情報を更新 | 「いいね！」していいよ

フォロー中 | メッセージ

100

高良良良

新時代葛城クリエーション推進事業facebook

かつらぎ・てれびでは・・・葛城市役所新庄庁舎と當麻庁舎の2箇所にコミュニティメディアセンター（CMC）を設置し、インターネット放送・ミニFM放送の同時情報発信が可能です。

災害時には、葛城市役所新庄庁舎2階会議室に設置する災害対策本部室に放送機材やネット機器などの情報発信用機器を移動し、市民に役立つ各種情報を発信ができるように設計されています。

◆新庄コミュニティメディアセンター

639-2195 葛城市柿本166
葛城市役所新庄庁舎7階展望室

◆當麻コミュニティメディアセンター

639-2197 葛城市長尾85
葛城市當麻庁舎3階302号会議室

◆災害時の情報発信拠点◆

639-2195 葛城市柿本166
葛城市役所新庄庁舎2階会議室（災害対策本部室）



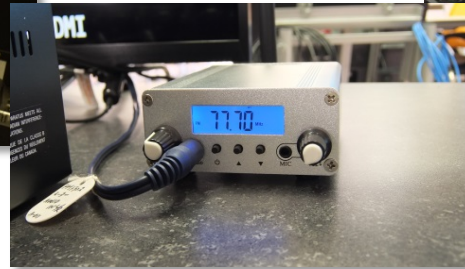
新庄メディアセンター（新庄庁舎外観）



當麻メディアセンター（當麻庁舎外観）



新庄コミュニティメディアセンター



ミニFM送信機



當麻コミュニティメディアセンター



LED照明

●コミュニティメディアセンター（CMC）の基本設計ポイント

- ・実際に使用する市民情報特派員のスキルに合わせ、誰もが簡単に扱える点を重視し民生機に近い機材で構成されています。
- ・市民情報特派員が情報発信の頻度を上げてでも対応できるように葛城市の2つの庁舎に同様のCMCを設置しました。
- ・新庄、當麻2つのCMCにおいては、同一の機材構成・配置と同じ操作方法で番組制作～配信までが可能です。
- ・災害などの緊急時には、台本や編集などの作業を経なくてもダイレクトに放送できるスクランブル対応が可能です。
(屋外からは、モバイル回線と専用エンコーダーを使い直接ネットサイトへ配信が可能です。)
- ・放送は、インターネットのUstreamサイトへのアップロードで生放送が葛城市内のみならず全世界に配信されます。
- ・これらの放送は、アーカイブ版がyoutubeに格納されネット端末からの視聴や随時「かつらぎネット」からのリンクもされています。
- ・放送免許取得が不要な出力のミニFM放送を同時に地域エリアに向け配信されます。(各CMC中心に数100メートル)

「かつらぎ・てれび」の配信について



● 配信方法について・・・

「かつらぎ・てれび」は、インターネット動画配信サービスのUstreamとYoutubeをメインに活用して配信しています。

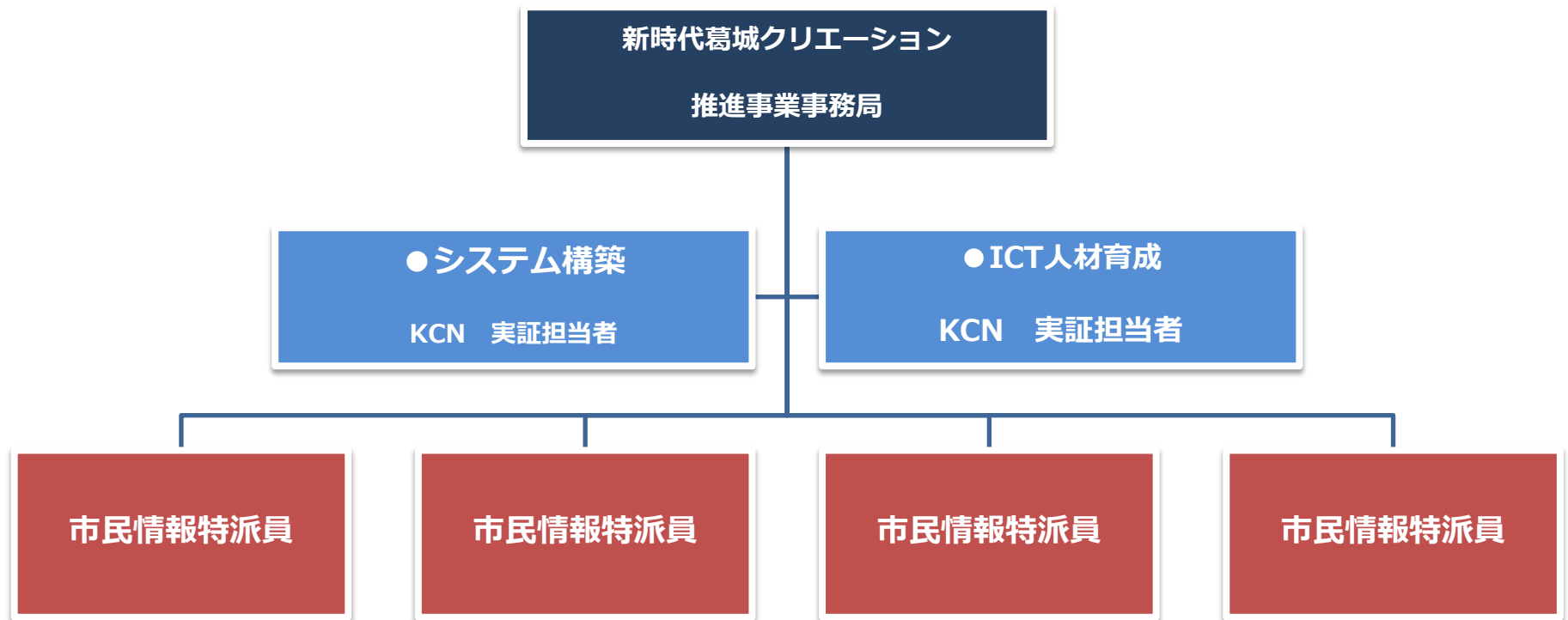
おもにライブ配信(生放送)に関しては、Ustreamを使用。放送後のコンテンツは、Youtubeに「かつらぎ・てれび」専用チャンネルを作りアーカイブ化されています。

また「かつらぎネット」のTOP画面からの直リンクでもアクセスできるようになっています。(スマートテレビBOX含む)



「かつらぎ・てれび」リンクアドレスなど

- ・Ustreamの場合は、サイトで「かつらぎ・てれび」と入力後検索いただくと過去のコンテンツが視聴できます。
- ・Youtube
http://www.youtube.com/channel/UCv3_BmJHLwcnO_Gnq5umafYw



■養成カリキュラム

映像制作をやったことがない人でも情報発信することができるように簡単でわかりやすく意識したプログラムを設定しワークショップを開催。全4回のワークショップを受講していただきました。

・番組づくりワークショップ

番組企画の構成など中心に学習

・ビデオカメラ撮影方法ワークショップ

初歩的なビデオカメラの撮影方法の習得

・スタジオ収録方法ワークショップ1

番組制作スタッフの役割を学び、番組収録を体験。

・スタジオ収録方法ワークショップ2

番組制作スタッフの役割を復習。ワークショップの成果実績として、実際に生放送の配信を行いました。
(かつらぎネットSNSができるようにWEB情報発信の方法)

さらにレベルアップを目指して動画編集ワークショップを開催。

・動画編集ワークショップ

動画の取り込みから動画編集方法までを実践レクチャー、実際に撮影した映像を編集し、動画編集をマスターします。

■ワークショップテキスト

各ワークショッププログラムに応じたテキスト

(全39ページ)を制作。

今後の活動において、教本として活用していただけるよう写真や図でわかりやすく解説しています。



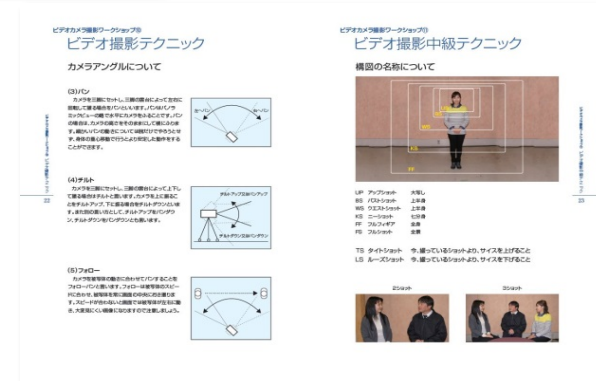
番組づくり



ビデオカメラ撮影方法



スタジオ収録方法



ワークショップテキスト



スマートテレビBOXによるかつらぎポータル表示した状態

次世代STBスマートテレビBOXの利活用

- 葛城ポータルのTVにおける利用
 - ・ 買い物支援
 - ・ 健康支援
 - ・ かつらぎ・てれびの視聴

使いやすさの実現のために・・・専用アプリの開発を行い下記の仕様を実現させました。

- スマートテレビボックス (STB)でのシングルサインオン環境の構築
タブレットと同様の使い方が可能 (れんカードは、FMCに非対応のため対応ができていない。)
- STB固有の識別番号によるシングルサインオン基盤を実現することで
写真のような葛城ポータルの表示させシニア世代も含めた誰もが使える
環境に近づける。TVリモコンのみで本事業のサービスを受けられる。

テレビの電源オンからリモコン操作2回だけで葛城ポータルへのアクセスができる。

● 実証実験の概要

- ・ 参加・・・21世帯 (キャパ30)
- ・ 対象世帯・・・KCNの既加入者でかつ葛城市在住世帯からピックアップ
- ・ 対象世帯宅にKCNからSTBとタブレットのセットを設置工事ならびに各種サービスの導入説明を実施。2月10日段階で約8割の世帯に設置完了。
- ・ 本事業期間終了のタイミングで利活用の状況ならびに対象世帯のヒアリングを実施し有効性の検証を行う。



スマートテレビBOX詳細ページ

<http://www.kddi.com/personal/smart-tv-box/index.html>

外観サイズ：幅176mm × 高さ (脚含む) 53mm × 奥行き176mm

・かつらぎテレビの運営について

・市民情報特派員(コミュニティ人材)の組織化・活性化が重要と考えております。

- ①かつらぎテレビ運営事務局の開設
- ②市民情報特派員の継続的募集
- ③コンテンツ・ハードウェア等のアドバイザー業務
- ④さまざまなルール整理(番組タイムテーブル・機器貸出・災害時運用など)
- ⑤他地域のコミュニティ放送、ネット放送などのローカルメディアとの連携など

・次世代STBによる地域ポータル活用状況・認証基盤のさらなる融合

・ケーブル会社による運用アシストの有効性

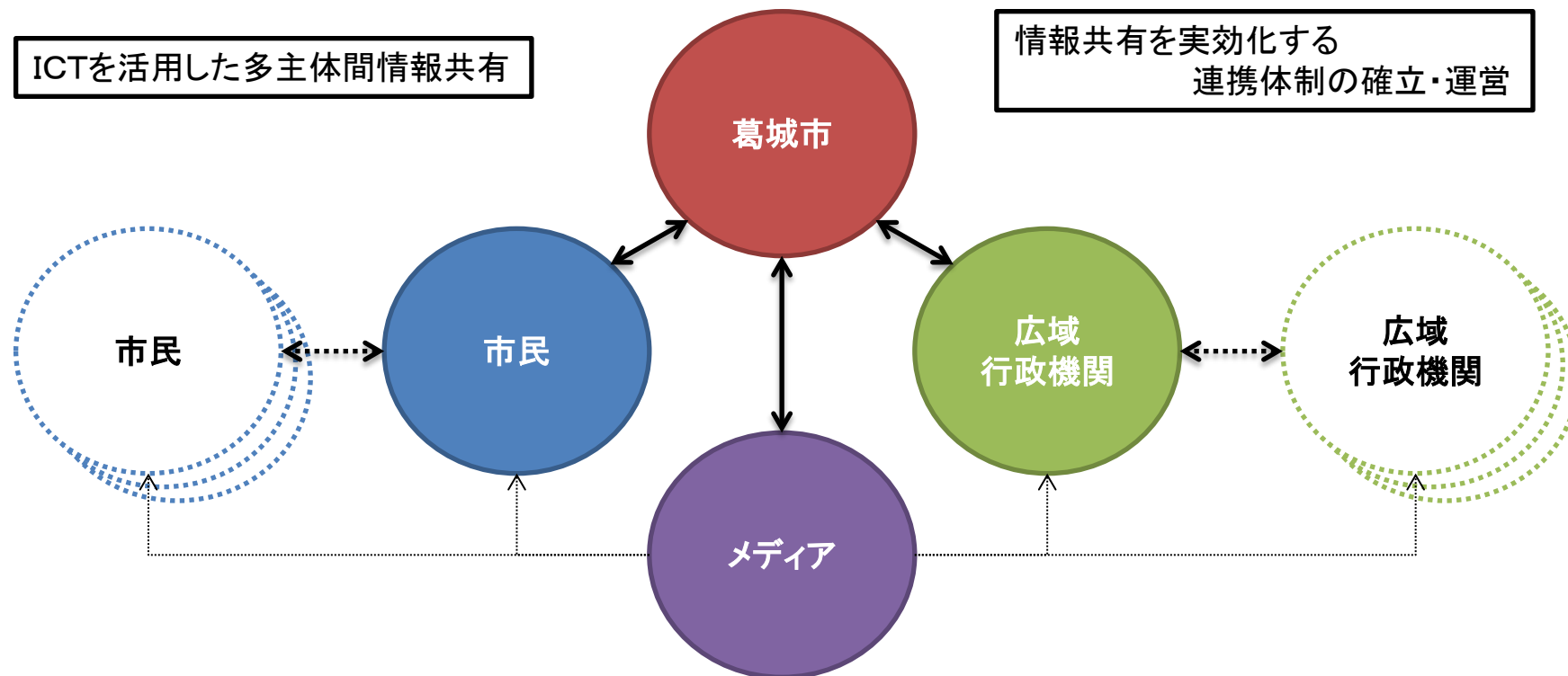
設置設定を施しただけのユーザー世帯における利用率アップは、なかなか望めない状況であると思われます。地元ケーブルテレビ会社においては、ユーザーサポート並びに顧客満足度を高める必要性からコールセンターによるサポートのみならず訪問アシストなどを繰り返し実施しておりICT基盤サービスのユーザーへの定着化にどの要に寄与していけるかさらなる検討が必要と思われます。

・FMCカード(レンカード)をテレビでも活用できるように・・・

現状のSTBでは、直接FMC搭載カードの読み込みができない状況です。これについては、STBにUSBでFMCカードリーダーを接続することでテレビにおいてもシングルサインオンで様々な生活支援サポートを実施できる可能性が高まり、タブレットなどの使用を躊躇するシニア世帯もITCを利用した高度なサービスを受ける事ができるようになると思われます。これらの開発に際しては、ソフト・ハードの両面からの検討が必要です。

第4部

ICT防災訓練ープレビュー



- “今・ここ”で情報共有とその連携体制が作動し機能する、汎用的かつ高普及状況にあるICTプロダクト
→連携主体の固有の事情(特定ベンダー等)に依存しない、汎用的ICTサービスを防災・災害対策へ応用
- 構築・運用の両フェーズでローコストであり、かつ、安定したプロダクトライフサイクルを有するICTプロダクト
→自律的なアップデート(自律的進化)機能を有する、陳腐化しない商用のサービステクノロジーを徹底活用
- 市民や災害対策関係者が無理なくスムーズ&シームレスに利活用できるICTプロダクト
→「オムニチャネル」など日常の生活行動に溶け込んだ“普段使い”のICTサービスを防災・災害対策へ応用

(1)災害想定

災害名称:南海トラフ地震(三連動地震)
発災時刻:平成26年3月4日(火)13:30
震源:和歌山県潮岬沖～三重県沖
規模:マグニチュード8.7
震度:葛城市新庄庁舎で震度6弱
※発災72時間前より断続的降雨、土砂崩れ等の恐れあり

(2)訓練実施日時

平成26年3月4日(火)
13:30～15:00に13:00

(3)実施場所

- ①葛城市内
 - ・新庄庁舎(災害対策本部、コミュニティメディアセンター等)
 - ・當麻庁舎(ロビー、スタジオ等)
 - ・寺口ふれあい集会所
 - ・ゆうあいステーション
 - ・消防本部 消防署
 - ・市管理道路施設、河川・砂防施設等の被災(想定)現地
 - ・市民情報特派員の避難経路沿線
 - ・その他
- ②葛城市外
 - ・香芝市庁舎
 - ・奈良県庁舎
 - ・国土交通省近畿地方整備局／奈良国道事務所庁舎

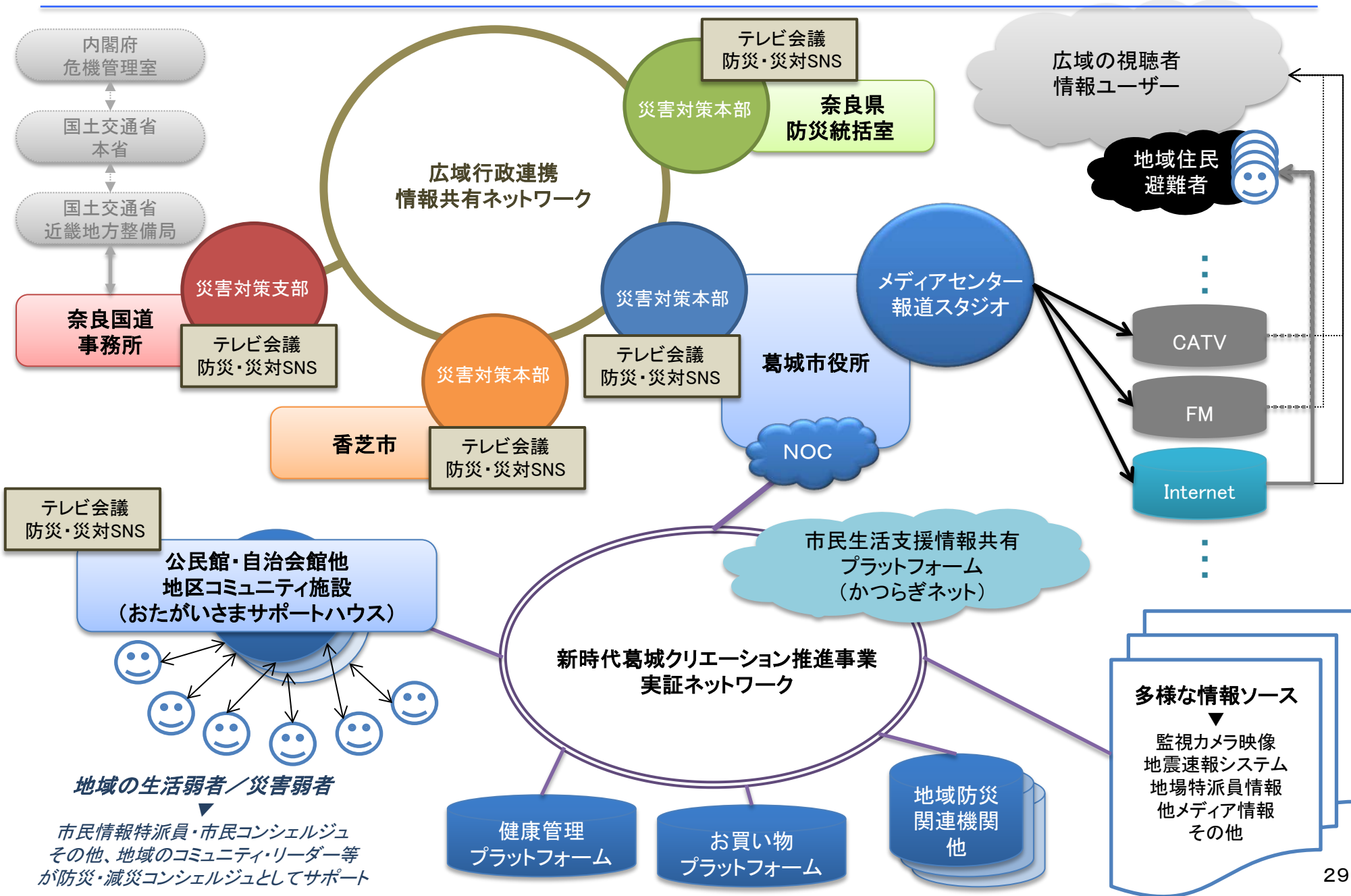
(4)活用する主なICT

- ①防災・災害対策情報共有SNS
- ②災害対策業務用情報共有システム
- ③テレビ会議システム(広域行政連携拠点間)
 - ※WiMAX, WiFiを活用した無線ネットワーク利用
- ④テレビ会議システム(葛城市内の主要拠点間)
 - ※一般公衆回線の専用線利用・市専用ネットワーク利用
- ⑥統合型GIS
- ⑦メディアセンター・デジタルスタジオ機能
- ⑧市民生活情報共有プラットフォーム(統合プラットフォーム)
 - ※かつらぎネット(ポータルサイト)
- ⑨共通ID
 - ※シングルサインオン個人認証

(5)主な参加機関

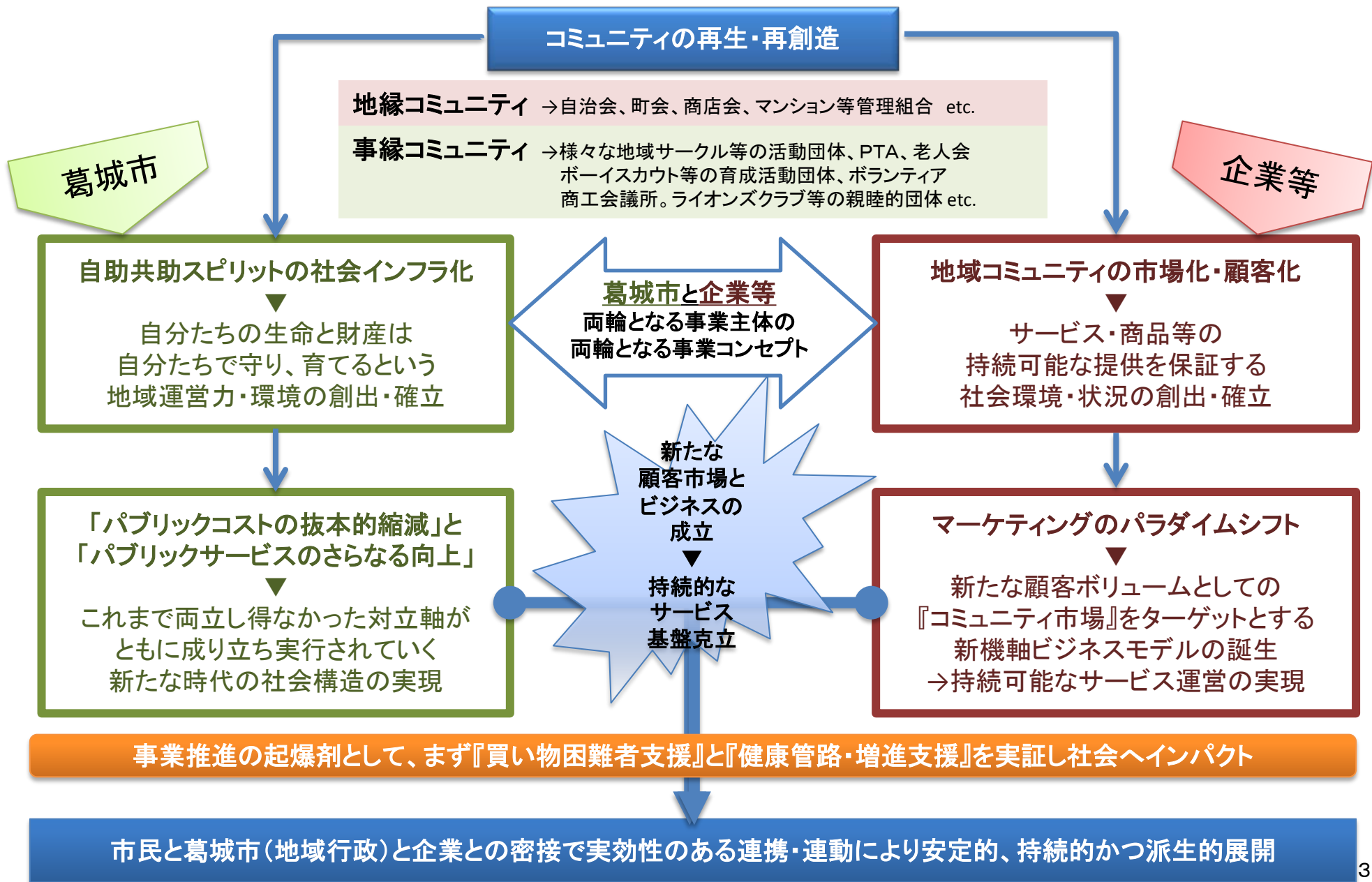
- ・葛城市
- ・葛城消防署
- ・市民情報特派員
- ・市民コンシェルジュ
- ・モデル地区住民・自治会を中心とした市民・コミュニティ
- ・広域連携を行う行政機関
 - ・香芝市
 - ・奈良県／防災統括室
 - ・国土交通省近畿地方整備局／奈良国道事務所
- ・共同提案団体
 - KCN、凸版印刷、イオンリテール(イオン)、オムロンヘルスケア
- ・協力企業等
 - 大日本印刷、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、リコー、シャープ、他)

情報共有－広域行政連携＋市民・行政間連携＋メディア連携の展開



第5部

今後の事業ビジョン ー持続可能なサービスの運営と普及展開に向けて



地域住民&地域コミュニティが、自律的に地域の運営を担い得る
様々なリテラシーを持続的に生み出す環境を整備・運営。



それにより、さらなる地域コミュニティの再生・再創造・活性化を
推進・実現して行く社会構造(=地域コミュニティが自分達で自分達を
育成・成長させていく仕組み・仕掛け等)が確立。

地域(地域コミュニティ)が見守り、地域(地域コミュニティ)に見守られる
安全・安心で生き甲斐・暮らし甲斐が躍動する生活環境が確立

さらに質の高い住民サービスを、より少ない財源(行政コスト)で、
持続可能な事業スキームにより、市民に提供する構造が確立

より社会意義の高いサービスの開発・提供により、企業の社会価値
(ブランド等)を向上させるとともに、『(地域)コミュニティ市場』という
これまで市場として未開だった新たな属性の市場化の可能性を確立
→つまり、持続可能な住民サービスの運営基盤を確立